

【 ドッジボールにおける新型コロナウイルス感染防止対策について 】

2021/11/20 改定
宮城県ドッジボール協会
事務局

『 基本方針及び大会開催時の実施マニュアル 』

※ここでいう大会、イベントとは、プライベート大会、交流試合、合同練習会等を含みます。

JDBAのガイドラインに沿って実施マニュアルを遵守してください。

《 基本方針 》

スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和2年5月14日 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会）に基づき、運営側と参加者が一体となって、でき得る限りの感染防止対策（競技特性上完全なる三密回避が困難な為）を施し、また、各個人が最大限予防対策を行い、安全に大会を進行する。なお、本方針、マニュアルは今後の情勢、状況に合わせて随時改訂するものとする。

★当面の間 2チーム以上のイベント開催の場合、基本方針、マニュアルに沿って実施してください。

《 主催者事前準備物 》

以下の事前準備物の数量については、主催者が大会、交流試合等の規模に応じて判断する。

「不織布マスク等」、「アルコール消毒液等」、「使いすて手袋等」、「石鹼（ハンドソープ等）」、

「ペーパータオル等」、「飛沫防止のためのアクリル板、透明ビニールカーテン」など

※上記準備物については、不足することも予想されるため、各自、準備対応することをお勧めします。

《 募集・参加申し込みについて 》

感染拡大の防止のため参加者は、以下の事項を遵守し開催すること。なお、これを遵守できない参加者については、他の参加者の安全を確保する等の関連から、参加の取り消しや途中退場を求めることがある。

※最終的な開催、実施判断については、その際の情勢、政府、県または各自治体のイベント開催の方針、利用施設の利用 条件等に準じ、下記の事項等を厳守のうえ、実施するようお願いいたします。各事項の遵守、各事項の厳守、準備ができない場合は開催を見合わせて下さい。

1. 開催時の遵守事項

開催にあたり、主催者側、参加する各チーム内全てにおいて『周知』『遵守』の徹底をお願いします。

(1) 参加者全員の名簿を管理（保管期間 1ヶ月以上）

・ 主催者は全参加チーム関係及び運営スタッフ名簿を当日提出してもらい管理（別紙）すること。

(2) (3) に該当する場合は主催者及び各チーム関係者が責任を持って、参加を見合わせて下さい。

・ 主催者関係（全スタッフ及び来賓等）

・ チーム関係（保護者含む）

・ フリーの観戦者については、定期的にアナウンスにより主催者側が把握、管理して下さい（氏名・連絡先等）

(3) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

① 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭通などの症状はある場合）

② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

③ 渡航入国後、専門機関指定の隔離期間以内又は当該従事者との濃厚接触が疑われる場合

- (4) 参加者は全員マスクを持参し着用すること。
 - ・ 食事や、運動、試合中プレーをしている時（着用は参加者等の判断）以外は、必ず着用すること。但し、熱中症等のリスクが高くなる場合もあるため、対策等を考慮し対応してください。
- (5) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (6) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること。
（障がい者の誘導や解除を行う場合は除く）
- (7) 大きな声で会話、応援等をしないこと。
- (8) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (9) 開催終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、開催主催者に対して速やかに濃厚接触者等報告すること。（チーム名、氏名等）
主催者は、協会事務局にも同様に報告し、大会等に参加した全チーム関係及び運営スタッフに速やかに報告して、『各自』保健所等関係各所の専門家の指示に従い対応して下さい。

2. 開催時の受付対応について

主催者は、大会当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に大会を開催・実施するため、以下に配慮して受付対応を行う。

- (1) 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- (2) 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場，受付手続きをしない。
- (3) 受付箇所はアクリル板、透明ビニールカーテンなどで、極力遮蔽すること。
- (4) 受付手続き者が距離を置いて並べるように目印の設置等を状況により判断。
- (5) 受付を行うスタッフには、マスクを着用必須とし、使いすて手袋等状況により着用させること。
- (6) 参加チームは、以下のチェックを行い、参加者リスト提出と合わせて主催者に報告すること。（別紙）
 - ① 大会当日の体温（37.5℃以上 平熱時に考慮し体温を判断）、体調確認（参加者全員）
 - ② 大会前2週間における以下の事項の有無
 - (ア) 平熱を超える発熱
 - (イ) 咳、のどの痛みなど風邪の症状
 - (ウ) だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - (エ) 嗅覚や味覚の異常
 - (オ) 体が重く感じる、疲れやすい等
 - (カ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触者
 - (ク) 渡航入国後、専門機関指定の隔離期間以内又は当該従事者との濃厚接触が疑われる場合

※※ ① 37.5℃以上は入場規制
他はチーム・主催者判断
※※ ② ア～オ はチーム・主催者判断 カ～ク は入場規制

3. 密閉の防止策について

換気の悪い密閉空間とならないよう、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。大会等スケジュール内に換気時間をもうけ実施する。

4. 観客席について

大会参加者・観客同士（応援時も）が3密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席数を減らすなどの対応をとる場合がある。観客席等の無い施設利用の際は、主催者側が事前に参加人数等を把握し、密にならないよう配慮して指示、徹底をしてください。

また、大声での会話や声援（応援）はしない。 会話をする際にはマスクを着用すること。

5. 弁当配布・容器回収について

当面主催者側でのお弁当等の斡旋を状況により判断。

昼食時の弁当配布及び回収を行う際は、以下に配慮して状況により判断。

- (1) 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- (2) 受付を行うスタッフには、マスク着用必須とし、極力使い捨て手袋を着用させること。
- (3) 受付箇所はアクリル板、透明ビニールカーテンなどで極力遮蔽すること。
- (4) 受付手続き者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- (5) 弁当空き容器はビニール袋に入れて密閉して縛ること。

6. 飲食時の注意事項

主催者側は飲食物を参加者に提供す際、以下に配慮し行うこと。（アルコール消毒液等の設置）

- ① 飲食物を手にする前に、手洗い及び手指消毒を行うこと。
- ② 紙コップ等利用の際は、使用毎に使い捨てにし、再利用しないこと。
各自ボトル等を利用し、個人で管理することを推奨します。

7. 進行について

全体的なタイムスケジュールに余裕を持たせ進行してください。

（試合数増加より、感染防止を最優先）

(1) 開会式・閉会式

挨拶及び連絡事項は、マイク等（飛沫感染を最大限に考慮）を用いて行い出来るだけ簡素化にし選手及び関係者、保護者等は指定場所にて待機したまま伝達する。

表彰式などは、参加者の密を避けるため、式典参加者の人数調整を行い簡略化にて対応
（主催者の指示に従ってください）

(2) 監督会議

密を避けるため間隔を広く取り、必要に応じてマイク等にて伝達する。

(3) 選手

- ① 選手はプレイ以外マスク着用。プレイ中のマスク着用は各自判断とし、個人用のマスク収容袋等で管理し他の者が触れないように対策を行う。

※ 熱中症等リスクが高くなる事が予想されるため、状況に応じマスクの着用を判断、対応してください。

- ② プレイ以外の不要な接触は避ける（円陣、ハイタッチなど）

- ③ 試合中、飛沫予防のため大声での声掛けは避ける。

- ④ 試合前及び試合終了後の手指消毒（手洗い）・うがいの徹底

※ コート内に入る際全選手の手指消毒 退場時の手指消毒（主催者側の指示に従ってください）

(4) チーム役員

- ① 常時マスク着用
- ② プレイ中の大声での指示禁止（飛沫防止）
- ③ ミーティング等は極力手短に（3密防止を意識）
- ④ 入退場時の手指消毒（主催者側の指示に従ってください）

(5) 審判員

- ① 当日朝 主催者管理名簿にて報告（主催者側の指示に従ってください）
- ② 審判員は基本マスクを着用。マスク管理は各個人にて徹底して管理。
 - ※ 熱中症対策等を考慮し着用については判断して下さい。（競技委員長及び主催者の指示に従う。）
 - ※ 審判員は笛、電子ホイッスル等を使用（無い場合は競技委員長及び主催者の指示に従う。）
- ③ 主審は安全確認等人との接触が予測される為、極力接触を避けるよう工夫、対応すること。
- ④ 試合前後の手指消毒の徹底。（オフィシャル・控え審判もこまめな消毒を実施）
- ⑤ 旗の消毒の徹底（個人用の持込可）
- ⑥ 昼食は極力時間を区切り分散させる。（3密防止を意識）
- ⑦ 審判会議の開催も3密防止を意識した場所で実施。
- ⑧ 試合中は、極力笛・動作のみ。（やむを得ない場合は除く）
 - ※ 安全確認，説明・報告等、飛沫に注意し工夫すること。（競技委員長及び主催者の指示に従う）
- ⑨ 控え審判等、待機時は、距離をとって待機する等、3密防止を意識する。

(6) 競技

- ① 全試合セットアップ・その場で解散等状況により判断。（競技委員長及び主催者の指示に従う）
- ② コート内での円陣など不要な接触を避ける。
- ③ ボールは毎試合消毒したものを使用する。
 - ※ オフィシャル周辺の共有使用物の消毒を徹底、意識して実施すること。
- ④ 待機チームは、各チーム密防止に配慮し対応（待機場所は該当チームのみ利用）
- ⑤ 試合終了後の選手の入替えは一方通行。（極力接触を避ける）
- ⑥ 試合終了後は、毎回コートにモップをかける。但し実施の判断は状況により主催者側で決める。
- ⑦ アリーナ 入退場場所に靴用の消毒施設を設置 但し実施の判断は状況により主催者側で決める。

8. その他について

(1) 手洗い場所

主催者は、参加者が手洗いをこまめに行えるよう配慮し、定期的アナウンスにより促すことを意識する

- ① 手洗い場所に石鹸（ハンドソープ等）を設置。 ※ 設置については、規模に応じ主催者側で判断
- ② ペーパータオル（使い捨て）等を用意 ※ 設置については、規模に応じ主催者側で判断

(2) ゴミの廃棄・管理

各チーム、各自にて管理しますが、鼻水、唾液等ついたごみは、ビニール袋等に入れ密閉して管理・破棄してください。主催者側も同様に対応し、手洗い、消毒の徹底をお願いします。

(3) 消毒箇所

主催者側は複数触れると予想される部分の消毒を定期的に行う。（主催者側にて判断、実施）

（例） 出入りに使用するドアノブ等 手すり等 トイレ等

(4) 衛生管理者の設定（大会規模により主催者側で判断して決めて下さい。）

チーム内に数名専属で選任して下さい。

《 主な内容 》

- チーム内の衛生管理（チーム及び選手に帯同し、消毒・マスク等の管理）
- 控えベンチ 隣接する手すり等 チームが主に触れると予想される部分の消毒
- チーム内の体調管理

★ 完全に「3密」を回避することが困難なことから、各自最大限に予防対策に努め、感染リスクを抑えるよう工夫、対応をお願いいたします。